



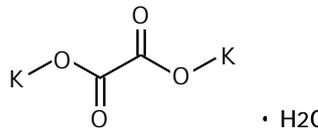
安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂日 2024/07/30
SDS整理番号 16421950

製品等のコード : 1642-1950
製品等の名称 : 25% しゅう酸カリウム溶液
推奨用途 : 試薬
使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約



GHS分類

物理化学的危険性
引火性液体 : 区分に該当しない
自然発火性液体 : 区分に該当しない
自己発熱性化学品 : 区分に該当しない
水反応可燃性化学品 : 区分に該当しない

健康に対する有害性
急性毒性(経口) : 区分に該当しない〔区分5(国連GHS分類)〕

シンボル、絵表示 : 該当なし

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報
飲み込むと有害のおそれ(経口)

注意書き

【安全対策】
保護眼鏡、保護手袋、保護衣、呼吸用保護具を着用すること。
【応急措置】
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
【保管】
直射日光を避け、容器を密閉して施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「区分に該当しない(分類対象外も該当)」又は「分類できない」である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物(しゅう酸カリウム一水和物の水溶液)
化学名、製品名 : 25% しゅう酸カリウム溶液
(別名) 25% しゅう酸ジカリウム溶液
(英名) 25% Potassium oxalate solution
成分及び含有量 : しゅう酸カリウム一水和物、25~26%

化学式及び構造式	：	(COOK)2・H2O、 構造式は上図参照（1ページ目）。
分子量	：	184.23
官報公示整理番号	化審法	： (2)-922
	安衛法	： 公表化学物質（化審法番号を準用）
CAS No.	：	6487-48-5（無水物：583-52-8）
危険有害成分	：	しゅう酸カリウム一水和物

4. 応急措置

吸入した場合	：	呼吸が困難になった時は、新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は、医師の治療を受ける。
皮膚に付着した場合	：	皮膚を石鹼と流水又はシャワーで洗う。 皮膚刺激などが生じた時は医師の手当を受ける。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。
目に入った場合	：	直ちに、水で15分以上注意深く洗う。その際、顔を横に向けてからゆっくり水を流す。水道の場合、弱い流れの水で洗う。 まぶたを親指と人さし指で広げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。 次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外す。 その後も洗浄を続ける。
飲み込んだ場合	：	眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。 口をすすぎ、うがいをする。 大量の水を飲ませる。 気分が悪い時は、医師の診断、手当を受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状：情報なし		

5. 火災時の措置

適切な消火剤	：	本製品は不燃性である。 周辺火災の種類に応じた消火剤を用いる。 粉末消火剤、二酸化炭素、散水、噴霧水、泡消火剤
使ってはならない消火剤	：	特になし
特有の危険有害性	：	火災中に熱分解し、刺激性又は毒性のガス及びビュームを発生する可能性がある。
特有の消火方法	：	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
消火を行う者の保護	：	有毒ガス等の接触を避けるため、消火作業の際は風上から行い、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	：	漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。 漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。 風上から作業し、ミスト、蒸気、粉じんなどを吸入しない。 密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。
環境に対する注意事項	：	河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。
回収、中和	：	漏洩物をウエス等で吸収し、密閉できる空容器に回収する。 回収後、漏洩場所は水で洗浄する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	：	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	：	周辺の発火源を速やかに取除く。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	：	
技術的対策	：	本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。 粉じん、ミスト、蒸気などの発生を防止する。
局所排気・全体換気	：	換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項	：	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。 接触、吸入又は飲み込まない。 皮膚、粘膜等との接触を避ける。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。
接触回避	：	水、高温体との接触を避ける。
保管	：	
技術的対策	：	採光、照明及び換気の設備を設ける。
混触危険物質	：	強酸化剤
保管条件	：	容器を密閉して保管する。

冷所に保管すると結晶析出を生じることがあるので注意する。
 一定の場所を定めて施錠して保管する。
 貯蔵する所には、白地に赤枠、赤文字で「医薬用外劇物」の表示を行う。
 直射日光を避けて保管する。

容器包装材料 : ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラスなど

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。
 許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：
 日本産衛学会 : 設定されていない。
 ACGIH : 設定されていない。
 設備対策 : この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。
 取扱場所には局所排気又は全体換気装置を設置する。
 保護具
 呼吸器の保護具 : 呼吸器保護具（防じんマスク）を着用する。
 手の保護具 : 保護手袋（塩化ビニル製、ニトリル製など）を着用する。
 眼の保護具 : 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用する。
 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣を着用する。
 衛生対策 : 必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
 取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態
 性状 : 液体
 色 : 無色
 臭い : データなし
 pH : データなし（中性～弱アルカリ性）
 融点 : データなし
 凝固点 : データなし
 沸点 : データなし
 引火点 : データなし
 可燃性 : 不燃性
 爆発範囲 : データなし
 蒸気圧 : データなし
 相対ガス密度（空気 = 1） : データなし
 密度又は相対密度 : データなし
 比重 : データなし
 溶解度 : 水に任意の割合で混和する。
 オクタノール/水分配係数 : データなし
 発火点 : データなし
 分解温度 : データなし
 粘度 : データなし
 動粘度 : データなし
 粒子特性 : データなし

GHS分類

引火性液体 : 本品は水溶液で不燃性であることから、区分に該当しないとした。
 自然発火性液体 : 本品は水溶液で不燃性であることから、区分に該当しないとした。
 自己発熱性化学品 : 本品は水溶液で不燃性であることから、区分に該当しないとした。
 水反応可燃性化学品 : 本品は水溶液で安定である（水との混触で可燃性ガスの発生がない）ことから、区分に該当しないとした。

10. 安定性及び反応性

安定性（反応性・化学的安定性） : 通常の取扱条件において安定である。
 低温保管すると結晶析出を生じることがある。
 危険有害反応可能性 : 強酸化剤と混触すると、反応することがある。
 避けるべき条件 : 日光、低温
 混触危険物質 : 強酸化剤
 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

しゅう酸カリウム無水物〔CAS No. 583-52-8〕のデータ；

急性毒性	: 経口 ラット LD50 = 660mg/kg 飲み込むと有害(経口) (区分4) 経皮 分類できない。 吸入(蒸気) 分類できない。 吸入(粉じん) 分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: 分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性: 分類できない。 皮膚感作性: 分類できない。
生殖細胞変異原性	: 分類できない。
発がん性	: 分類できない。 知見データがなく、産衛学会やIARC、ACGIH、NTP、EPA、OHSАの国際 評価機関の報告がないため、分類できないとした。
生殖毒性	: 分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない。 ただし、ばく露を受けると、中枢神経系、腎臓に障害がおきることが ある。また、呼吸器への刺激のおそれがある。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない。 ただし、長期又は反復ばく露により腎臓に障害がおきることがある。
誤えん有害性	: 分類できない。

12. 環境影響情報

しゅう酸カリウム無水物〔CAS No. 583-52-8〕のデータ;

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	: 分類できない。 大量に水生環境に放出されると、下記のしゅう酸と同様に急性 有害性が疑われる。
水生環境有害性 長期(慢性)	: 分類できない。 しゅう酸と同様に急速分解性があり、生物蓄積性が低いと推測 されるので慢性有害性は低いと予想される。
残留性・分解性	: データなし。良分解性
生物蓄積性	: データなし。低濃縮性
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていない ため、分類できないとした。

参考【しゅう酸〔CAS No. 144-62-7〕のデータ】

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	: 水生生物に有害(区分3) 甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50 = 15mg/L (環境省生態影響試験(1998))
水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分に該当しない。 急速分解性があり(TOCによる分解度: 100% (既存化学物質安全 性点検データ)、かつ生物蓄積性が低いと推定される(log Kow= -2.22(PHYSPROP Database(2005)))ことから、区分に該当しない とした。
残留性・分解性	: 良分解性。TOC分解度 = 100%
生物蓄積性	: 低濃縮性。Log Kow = -2.22
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていない ため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。 都道府県知事などの許可(収集運搬業許可、処分業許可)を受けた 産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付 して廃棄物処理を委託する。 廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を充分告知 の上処理を委託する。 必要に応じて、廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和等の 処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま
-------	--

- 埋め立てたり投棄することは避ける。
 (参考) 希釈法
 少量であれば、大量の水と共に排水処分とする。
 汚染容器及び包装 : 内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って適切に処分する。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

- 国内規制(適用法令)
 陸上規制 : 毒劇法、道路法の規定に従う。
 海上規制 : 特段の規制なし(非危険物)
 航空規制 : 特段の規制なし(非危険物)
 国連番号 : 非該当
 国連分類 : 非該当
 品名 : 非該当
 海洋汚染物質 : 非該当
 MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送の有害液体物質の汚染分類 : 非該当
 特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
 重量物を上積みしない。
 車輛等による運搬の際にはイエローカードを運搬人に保持させる。

15. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 非該当。
 なお、令和6年4月1日施行、令和7年4月1日及び令和8年4月1日施行予定の表示・通知対象物の追加物質にも非該当
 無水物はR8年4月1日以降、名称等を表示または通知すべき危険物及び有害物「シウ酸カリウム、対象重量%は 1」に該当するが、本製品は一水和物を成分とするため非該当
 (法第57条、法第57条の2)
 また、皮膚等障害化学物質やがん原性物質にも非該当
 (安衛則第594条の2、安衛則第577条の2)
 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
 : 非該当〔2023年(R5年)4月1日施行の法改正にも非該当〕
 毒物及び劇物取締法 : 劇物「蓚酸塩類及びこれ含有する製剤。ただし、蓚酸として10%以下を含有するものを除く。」、
 包装等級III
 消防法 : 非該当
 船舶安全法 : 非該当
 航空法 : 非該当
 輸出貿易管理令 : キャッチオール規制(別表第1の16項)
 HSコード：2917.11
 第29類 有機化学品
 ・輸出統計番号(2024年1月版)：2917.11-000
 「ポリカルボン酸並びにその酸無水物、酸ハロゲン化物、酸過酸化物及び過酸並びにこれらのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体
 - 非環式ポリカルボン酸並びにその酸無水物、酸ハロゲン化物、酸過酸化物及び過酸並びにこれらの誘導体：しゅう酸並びにその塩及びエステル」
 ・輸入統計番号(2024年4月1日版)：2917.11-000
 「ポリカルボン酸並びにその酸無水物、酸ハロゲン化物、酸過酸化物及び過酸並びにこれらのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体
 - 非環式ポリカルボン酸並びにその酸無水物、酸ハロゲン化物、酸過酸化物及び過酸並びにこれらの誘導体：しゅう酸並びにその塩及びエステル」

16. その他の情報

(注) 本品を本来の用途以外には使用しないで下さい。

取扱注意事項：

本製品の取扱いは毒物劇物取締法の規定に従い、購入、保管、使用及び廃棄には細心の注意を払うこと。毒物劇物取扱等の責任者は、必要に応じ取扱う者に対し労働安全衛生、漏洩防止、緊急時の対応、環境影響、使用記録、保管庫施設、

紛失盗難防止などについて教育、訓練を実施し、事故の予防に努めること。

参考文献：

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances	NIOSH CD-ROM
GHS分類結果データベース	nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルMSDS情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253:2019に準じ作成しています。